



いのち支える



いのち支える自殺対策推進センター

ニュースレター 第42号 (2025.04.08)



いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）のニュースレターにご登録いただき、ありがとうございます。本号では、3月末に公表された2024年の年間自殺者数（確定値）の概要や、Web版オープンアクセスジャーナル『自殺総合政策研究』と英文ジャーナル『Suicide Policy Research』の最新号、第2回「生きることの包括的支援のための基礎研修」の様子などについてご紹介しています。

※このメールは、本ニュースレターの配信を希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しています。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけしますが、[こちら](#)から配信停止手続きをお願いいたします。

〈ニュースレター第42号 トピックス〉

1. 【自殺対策】2024年年間自殺者数の公表について
2. 【調査研究】『自殺総合政策研究』と『Suicide Policy Research』の最新号を発刊
3. 【開催レポート】第2回生きることの包括的支援のための基礎研修を開催
4. 【無料e-ラーニング】「大学における自殺対策推進のための研修」を開講
5. 【登壇報告】青森県自死遺族支援研修会にJSCP職員が登壇
6. 【関連情報】日本自殺総合対策学会第4回大会を開催

1. 【自殺対策】2024年年間自殺者数の公表について

2024年（令和6年）の自殺者数（確定値）が、厚生労働省から公表されました。同年の年間自殺者数は2万320人。前年より1,517人減少し、1978年の自殺統計開始以降、2019年の2万169人に続いて2番目に少なくなりました。男女別では、男性が1,061人、女性が456人それぞれ減少し、ほとんどすべての年代で減少しましたが、19歳以下の女性は51人の増加となっています。

近年増加傾向にある小中高生は、前年から16人増えた529人と、2022年を超えて過去最多となり、深刻な状況が続いています。男女別では、男性は前年から20人減って239人でしたが、女性は36人増えて290人となり、女性が男性を上回りました。特に女子高校生は166人から187人へと21人増え、そのなかでも定時制・通信制が15人増となっています。

特定できる原因・動機（大分類）では、全体の自殺者数の減少を反映して、「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」「勤務問題」「交際問題」が減少しましたが、「学校問題」だけが524人から572人へ48人増加。そのうち女性の増加が38人となっています。

■厚生労働省が公表した資料（「令和6年中における自殺の状況」）は[こちら](#)

2. 【調査研究】『自殺総合政策研究』と『Suicide Policy Research』の最新号を発刊

JSCPは、2023年度にWeb版オープンアクセスジャーナルとしてリニューアルした学術誌『自殺総合政策研究』と、英文ジャーナル『Suicide Policy Research』の最新号を、2024年3月31日に発刊しました。

『自殺総合政策研究』の今号（第5巻第1号）では、査読付き公募論文（総説）を含む次の3本の論稿を掲載。いずれも力作で、今後の日本の自殺研究や自殺対策の推進に貢献していくことが期待されます。

〈本号の内容〉

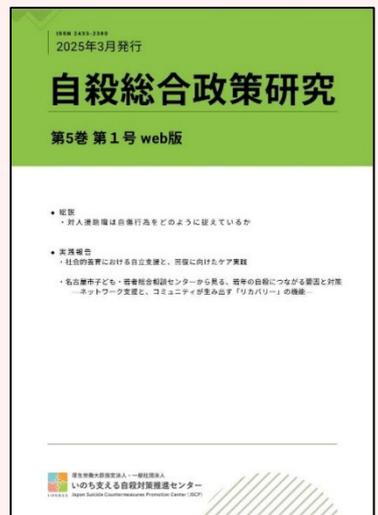
「総説」：高橋哲、岡本みどり「対人援助職は自傷行為をどのように捉えているか」

「実践報告」：福本啓介「社会的養育における自立支援と、回復に向けたケア実践」

「実践報告」：渡辺ゆりか「名古屋市子ども・若者総合相談センターから見る、若年の自殺につながる要因と対策」

■Webジャーナル『自殺総合政策研究』第5巻1号は[こちら](#)

※ぜひご感想、ご意見をお寄せください (journal@jscp.or.jp)



また、4年3か月ぶりの刊行となった英文の『Suicide Policy Research』は、『自殺総合政策研究』の翻訳版ではなく、全く別の英文による学術誌です。今号（Vol.4, No.1）では、以下の論稿を掲載しています。

〈本号の内容〉

「Editorial」：Hiroe Tsubaki, “Suicide Policy Research is Being Reconstituted as a Journal Dedicated to Advancing Suicide Prevention Measures”

「Commentary」：Sandersan Onie, Byron J. Good, “Integrating Social and Cultural Research into the LIVE LIFE Framework for Implementation and Localisation of a National Strategy”

「Perspective」：Takahiro Arai, Keita Yamauchi, “Essential Skills for Suicide Prevention Data Analysts”

「Overview」：Hyunjung Park, “Suicide Rates and Countermeasures in South Korea: Emphasis on Recent Legislative Reforms Focused on Young Adults”

■Webジャーナル『Suicide Policy Research』 Vol.4, No.1は[こちら](#)



3. 【開催レポート】令和6年度第2回「生きることの包括的支援のための基礎研修」を開催

JSCPは2025年3月14日、令和6年度第2回「生きることの包括的支援のための基礎研修」をオンラインで開催しました。この研修は、都道府県・市区町村の自殺対策担当者・関係者が、地域において「生きることの包括的支援」としての自殺対策を推進するべく、事業企画の立案や支援技術の理解に役立てることを目的として、年度内にテーマ別で複数回にわたり開催するものです。今回の研修では、東京都江戸川区が、2024年9月に調査分析のうえ公表した「自殺で亡くなった住民との関わりに関する分析結果と対策」について、江戸川区健康部副参事の大澤樹里氏に講演いただくとともに、JSCPセンター長補佐の森口和が本調査事業に協力を行った立場から説明。当日は全国の都道府県や市区町村等の自殺対策担当者、約300人が参加しました。江戸川区では、2014年に自殺対策の専門部署として「いのちの支援係」を設置するとともに、区長をトップとする「自殺対策戦略会議」を定期的で開催するなど、全庁を挙げて自殺対策に取り組んでいます。そうした中、今回の調査分析に着手した背景について大澤氏は、▽区長から「各部署における自殺対策事業の達成度が8割超となっているのに、なぜ自殺者数は減らないのか」との問題提起を受け、実態把握に向けた調査を実施することにした▽実施にあたっては関係部署の管理職者を中心に丁寧な説明を行い全庁からの理解と協力を得た▽調査データの分析結果は各課に詳しくフィードバックを行い、それを踏まえて各課からも今後の対応策等の意見を得られた——ことなどを説明。そのうえで、調査の実施を通じて各職員の自殺対策への意

識が向上し関係部署との連携強化につながったことなどを成果として挙げるとともに、「今後は支援者を支援できるような体制の拡充が課題」と述べました。また、質疑応答の後には、「住民の生命と財産を守ることが、自治体としての使命。自殺対策の取り組みを進めてもすぐに自殺者数の減少につながるとは限らないが、この使命のもと、全庁を挙げて今後も生きる支援に取り組んでいきたい」と語りました。

研修後のアンケートには、「庁内で実施できるモデル的な取り組みを示していただき、大変参考になった」「住民に深くかかわる行政ができることとして、自分たちのことを振り返る視点と行動の具体が分かった」などの感想や意見が寄せられています。

■研修の詳細なレポートは[こちら](#)からご覧ください



江戸川区健康部副参事の大澤樹里氏

4. 【無料e-ラーニング】「大学における自殺対策推進のための研修」を開講

2024年の小中高生の自殺者数が過去最多となりましたが、大学生の自殺者数も高止まりしており、2024年に自殺で亡くなった大学生・大学院生は434人にのぼりました（厚生労働省HP「[令和6年中における自殺の状況](#)」参照。参考資料：[「大学生の自殺の状況」](#)）。大学における自殺対策の推進は、喫緊の課題です。

JSCPでは2022年度から、「大学における自殺対策推進のための研修」を開催してきました。今年から大学教職員の方が、いつでも、何度でも受講できるよう、e-ラーニング形式で本研修を提供いたします。昨今の大学生の自殺の概況や、大学教職員として悩みを抱える学生にどのように関わったらいいのか、大学組織としての自殺対策について学んでいただける内容となっています。受講後は修了証のダウンロード・印刷が可能です。大学での自殺対策推進に、ぜひご活用ください。

【研修の概要】（ポスターは[こちら](#)）

【講義】 1) 大学生の自殺の概況（JSCP作成）

2) 自殺対策－個人スキル編－

講師：石井映美先生（早稲田大学保健センター教授）

3) 自殺対策－組織スキル編－

講師：太刀川弘和先生（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学教授）

【対象】 国公立私立大学等で学生の支援・相談・教育に関わる全ての方

【開講時期】 2025年3月31日（月）～

【受講費】 無料

■受講登録・詳細情報は[こちら](#)から

5. 【登壇報告】青森県自死遺族支援研修会にJSCP職員が登壇

2025年2月15日、青森市で開催された「自死遺族支援研修会」（青森県立精神保健福祉センター主催）に、JSCPセンター長補佐の反町吉秀と自死遺族等支援室長の菅沼舞、フリーアナウンサーの武田真一氏が登壇しました。

本研修は、自死・自殺に対する社会的偏見を取り除き、遺された方々の悲しみや苦悩に寄り添い、支えるためには何ができるのかを考えることを目的に開催。当日は、県内の自治体職員や医療・福祉・教育関係者、消防関係者のほか、一般参加者を含む89人が参加しました。

研修会の前半では、JSCPの菅沼が「自死遺族等を支えるために、私たちができること～当事者そして支援者の立場から考える～」というタイトルで、自死遺族当事者としての経験も踏まえながら、自死遺族等が置かれがちな状況や、誤った認識や偏見による影響について紹介。続いてJSCPの反町が、『自死遺族等支援の手引（改訂版）』を読んでみませんか～自死遺族等支援に取り組むきっかけとして～をテーマに、2024年9月にJSCPが公開した「自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引（改訂版）」の概要を説明するとともに、支援者の立場から周囲の人が心がけたいことや具体的な実践事例、手引の活用方法について紹介しました。

また、長らくNHKのアナウンサーも務めた武田氏は、「言葉を心に浸して～心をつなぐ、命をつなぐ～」と

題して講演。震災報道や著名人の自殺など、命にまつわる報道を通じて感じたこととして、「亡くなった方一人ひとりに名前があるように、それぞれに物語や歴史があり、命の重みがあること」や、「対等な立場でつながることの大切さ」について語るとともに、自殺報道の指針となるWHOの「自殺報道ガイドライン」の概要も紹介しました。

後半のシンポジウムでは、「自死・自死遺族支援にまつわる様々なことを考える」をテーマに、「こども・若者の自殺対策」、「自死遺族等支援の拡充」、「手引の活用方法」など、会場参加者からの質問に対して、それぞれの立場から意見を交わしました。



6. 【関連情報】日本自殺総合対策学会第4回大会を開催

日本自殺総合対策学会は2025年3月11日、『『孤独・孤立』を考える』をテーマに、第4回大会をオンラインで開催しました。JSCPは厚生労働省とともに本大会を後援。当日は、学会員・一般参加者を合わせて約500人が参加しています。

第Iセッションの「子ども・若者の『孤独・孤立』を現場から考える」では、石井正宏氏（NPO法人パノラマ）が高校生支援の現場から、「相談にやってくる『勇者』を待つのではなく、会いに行く」姿勢の重要性を説明。続いて林星一氏（神奈川県座間市）が、18歳以降の若者が支援制度の「狭間」に落ちやすい構造的課題と、多機関連携による地域支援の必要性を提起しました。

第IIセッション「『孤独・孤立』対策に取り組む実践的研究」では、大塚尚氏（東京大学）が大学生の孤独感に関する調査と現場の声を紹介。また、岡檀氏（統計数理研究所）は「相談に来て」と待つだけでは支援に結びつかないという現実を示したうえで、支援の受け手に届く仕掛け・仕組み作りの重要性を指摘しました。全体を通じて、孤独・孤立対策には信頼関係の構築や多様なつながりが不可欠であり、現場の知と専門知の連携による社会実装の意義が強調されました。本大会は、科学技術振興機構（JST）のRISTEXの孤独・孤立に関する研究開発プロジェクト（岡檀氏PJ）と共催で行われ、学会としても現場と学术界の橋渡しとなる活動を、今後さらに推進していく姿勢が示されました。アンケートでは99.6%が大会に満足と回答し、多くの参加者からは学びと励ましの声が寄せられています。

■同大会のプログラムや開催レポートについては、[こちら](#)をご覧ください

■YouTubeの「JSCP_広報室」チャンネルで、啓発動画や、研修動画等を順次公開中。ぜひご登録ください。
<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュースエキスパートで、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP 広報官・山寺が執筆）。ぜひご覧ください。

<https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/yamaderakaoru>

■X（旧Twitter）でも発信中です。ぜひフォローください。

日本語版X：https://twitter.com/JSCP_press

英語版X：https://twitter.com/JSCP_www

■Facebook

<https://www.facebook.com/JSCP.press>

今後も、JSCPをどうぞよろしく申し上げます。

配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

--

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人

いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp